

平成 23 年度事業計画

大正 6 年（1917 年）に、澤柳政太郎が日本の初等教育改造を志し実験的教育の場として創設した成城小学校から始まる成城学園は、平成 29 年（2017 年）に創立 100 周年を迎えます。

澤柳政太郎が成城小学校創設時に掲げた希望理想としての「四つの綱領」（①個性尊重の教育、②自然と親しむ教育、③心情の教育、④科学的研究を基とする教育）と、旧制成城高等学校創立時の教育理念である「真善美」については、今日における成城学園の各学校の教育に引き継がれており、現代社会に貢献する多くの人材を送り出す総合学園へと発展して参りました。

しかしながら、少子化等社会経済情勢の変化をはじめ、諸制度改革、規制緩和の影響で、私立学校は生き残りを賭けた厳しい競争の時代に突入していることはご承知のとおりです。

また、平成 16 年からの「成城イノベーションプログラム」により、大学をはじめとする各学校の教育改革および教育環境整備計画を遂行して参りましたが、進展する教育機器設備などの教育環境設備と老朽化する施設・設備については、引き続き計画的な整備・改修が必要な状況にあります。

当該状況において、平成 23 年度は、成城学園の第 2 世紀に向けて、良き伝統を活かしつつ、各学校とも学力向上に資する教育改革を推進し、より魅力ある成城学園を目指し、取り組んで参ります。

平成 23 年度消費収支予算概要

平成 23 年度の消費収支予算では、収入の根幹をなす学生生徒等納付金の安定的確保、新規補助金および外部資金の積極的導入を図って参ります。

学生生徒等納付金は、平成 22 年度在籍者数を勘案して、対前年度比 8 千 200 万円増の 84 億 6,100 万円を計上いたしました。手数料（入学検定料）は、併願率の減少等の影響を考慮し、対前年度比

4 千 600 万円減の 4 億 4,700 万円を計上いたしました。また、寄付金は、一般寄付を平成 22 年度実績見込みと近年の増減率を加味積算するとともに、特別寄付を含め、対前年度比 4 千 800 万円減の 2 億 9,100 万円を、補助金は、過年度実績をもとに算出し、ほぼ前年度水準の 11 億 2,900 万円を計上いたしました。その結果、帰属収入合計では、106 億 9,600 万円と、対前年度比 6 千 200 万円の減額となりました。また、教育機器整備、第 2 グランド人工芝化等に伴い、基本金組入額が対前年度比 1 億 6,300 万円増加したことから、消費収入の部合計では、対前年度比 2 億 2,500 万円減の 97 億 2,900 万円といたしました。

一方、支出面では、防犯・防災安全対策の整備、教育機器整備等に重点配分しましたが、退職給与引当金の減少等により、消費支出合計は 96 億 5,700 万円となり、対前年度比 2 億 3,300 万円の減額となった結果、当年度消費収支は 7,200 万円の収入超過といたしました。

各学校の取り組み方針および施設設備計画

【大 学】

■ 教育面での事業

教育サービスの充実を図り、特に以下の 3 つの事業に積極的に取り組む。

1. 教育改革の推進

① 3 つのポリシーの策定

本学の教育面での特色を端的に示すため、3 つのポリシーを策定する。すなわちどのような学生を受け入れて（アドミッション・ポリシー）、どのような教育を行い（カリキュラム・ポリシー）、そしてどのような人材を育て社会に送り出すか（ディプロマ・ポリシー）を各学部・学科、大学院専攻ごとに明確化する。策定した 3 つのポリシーをそれぞれ有機的に関連づけることによって、本学の教育の質を保証し、未来社会に貢献する

人材の育成を目指していく。

② FD 活動の推進

成城大学 FD 委員会を設置し、学生授業評価アンケート、新任教員研修会、FD 講演会等を実施しているが、本年度においてはさらに授業改善、教育力の向上に直結するよう FD 活動の深化を図る。

③ 全学共通教育カリキュラムの充実

各学部別に編成されていた教養科目を学部横断的に再編して充実させるとともに、平成 23 年度からは、社会イノベーション学部も参加し、キャリア支援科目を拡充させるほか、実践的な外国語科目の充実を図る。

2. 就業力育成支援事業の推進

昨年度採択された文部科学省の補助事業である就業力育成支援事業を本格的に展開し、「自ら考え行動する力」と、「未来社会に貢献する実践的能力」を身に付けたたくましい人材を育成する。

3. 国際交流の強化

グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、留学生の派遣、受け入れの両面について交流事業を拡大する。さらに、認定留学生の授業料減免を、半額から全額に拡大し海外留学を支援する。また、日本語クラスを増設し、交換留学制度による受け入れ留学生を増やし、内なる国際化を促進する。

■ 研究面での事業

外部資金の獲得を積極的に支援した結果、科学研究費の獲得額は増加傾向にあるが、本年度はさらに支援を強化するとともに、大型研究費への応募も体制整備を図り積極的に支援する。

1. 外部からの競争的研究資金獲得の推進

■ 危機管理体制の強化充実

各種対応マニュアルの整備等、危機管理体制を整備・強化する。

1. 各種対応マニュアルの整備
2. 避難訓練等の実施
3. 防犯カメラの整備

■ 施設設備面での事業

1. ネットワーク機器ほか機器・設備の改修等
 - ①3号館ネットワーク機器のリプレイス
 - ②地上波デジタル放送対応工事
 - ③7号館7教室の設備整備
2. 改修工事
 - ①1号館防災設備
 - ②2号館屋上防水・人工芝
 - ③5号館トイレ等
 - ④第1体育館Aフロア床等

【 中学校高等学校 】

■ 教育面での事業

1. 「自治自律」の精神に基づく人間的成長を目指した教育の充実
授業、行事、部活動等を通して、問題解決能力を養い、コミュニケーション能力を磨き、人間的な成長を目指す。
 2. 国際交流の充実
3年生を対象とした「夏期短期語学留学」を実施するとともに、オーストラリアからの短期訪問を受け入れる。(中学校)
「夏期カナダ短期語学留学」の実施および「海外長期留学希望生」の支援を行う。(高等学校)
 3. 「1年次英語分割授業導入」等による基礎学力の向上(中学校)
20人クラスの実現により、きめ細かい指導による英語教育を実施。
 4. 「コース制による進路指導」の充実(高等学校)
進路に応じたカリキュラムにより、効率的な学習を促進し、大学進学後の研究活動の基礎となる学力を習得させるとともに、キャリアガイダンスを充実させる。
- ### ■ 施設設備面での事業
1. デジタル化に向けた視聴覚機器の更新
 - ①第1校舎6教室へのテレビモニター設置(中学校)
 - ②教室への50インチモニター設置(高等学校)
 2. 平成24年度中学校1年8クラス化に向けた校舎の改修工事(中学校)

3. 空調設備整備(高等学校)

- ①教室の空調整備
- ②中央棟の空調設備改修工事

【 初等学校 】

■ 教育面での事業

- 創立100周年を視野に入れ、さらなる教育内容の充実を図るべく、「100年プラン」と称した新たな教育活動の研究を推進し、古き良き伝統は継承しつつ、「本当の教育」「理想の教育」を目指して、時代に即した変革に取り組む。
1. 100年プランの継続研究(新カリキュラム作りと具体化の推進)
『基礎・基本をしっかりと身につけさせ、さらに人間関係を深めていける場としての学校』を目指し、新カリキュラムを作成するとともに、6年後の完全実施に向けた具体化の推進。
 2. 「基礎学力の向上」をめざす研究と研修
学力および到達目標の明確化と授業力の向上を図るとともに、授業時間数の確保を目指した、新しい時間割による授業を実施。
 3. 少人数学級編成の可能性を探る
様々な学習活動を充実させるための理想的な「少人数教育システム」の実現への可能性を探る。
 4. 積極的な安全教育およびルール・マナー教育の推進
「みんなで安全! みんなが安心!」「知っているし、しているよ」をスローガンとする、積極的な安全教育とルール・マナー教育の推進。
 5. 校外教育(夏の学校、スキー学校)の充実
- ### ■ 施設設備面での事業
1. 講堂の耐震補強工事
 2. 講堂の照明設備および内幕改修等工事
 3. 学校情報システム「成城ネット」のリプレイス
 4. PC教室機器のリプレイス
 5. 教員用情報機器のリプレイス

【 幼稚園 】

■ 教育面での事業

1. 教育・保育方法等の保護者との共有
カリキュラムおよび園児の行動等に関する研究を通じた、幼稚園の志す教育・保育(方法、方向、考え方(ポリシー)等)の保護者との共有。
2. 幼児教育に対する社会ニーズの変化への対応に関する研究推進
「こども園」の是非を含めた幼児教育のあり方等についての研究。

■ 施設設備面での事業

1. 教職員用情報機器のリプレイス

■ 広報面での事業

1. 入試説明会用DVDのリニューアル
2. 幼稚園パンフレット作成

■ その他

1. 防災・防犯のための学園各学校および保護者との協働推進
2. 地域との連携の研究

【 学園全体 】

■ 施設設備面での事業

1. 伊勢原総合グラウンドの各所改修工事
2. 成城池周辺の自然環境整備工事
3. 第2グラウンドの人工芝化等改良工事
4. 五十周年記念講堂の各所改修工事
5. プール更衣室備品等整備
6. 富望荘(千葉県富浦市)の各所改修工事
7. 「省エネルギー」および「二酸化炭素排出量削減」への対策
8. 法人事務局情報機器のリプレイス
9. 法人事務局棟の空調設備改修工事
10. 幼稚園から高等学校までの学校評価の充実
11. 「第2世紀プラン基本構想検討委員会」における創立100周年事業計画の継続検討

平成23年度 資金収支予算 要約

(単位：千円)

収入の部			
科目	平成23年度	平成22年度	比較増減
学生生徒等納付金収入	8,461,178	8,379,531	81,647
手数料収入	446,825	492,646	△ 45,821
寄付金収入	291,300	339,750	△ 48,450
補助金収入	1,128,811	1,148,069	△ 19,258
資産運用収入	90,386	95,230	△ 4,844
資産売却収入	600,000	500,000	100,000
雑収入	277,779	303,059	△ 25,280
借入金等収入	600	400	200
前受金収入	2,301,086	2,239,964	61,122
その他の収入	749,960	582,466	167,494
資金収入調整勘定	△ 2,572,314	△ 3,045,293	472,979
小計	11,775,611	11,035,822	739,789
前年度繰越支払資金	6,931,526	6,391,305	540,221
収入の部 合計	18,707,137	17,427,127	1,280,010

支出の部			
科目	平成23年度	平成22年度	比較増減
人件費支出	6,426,859	6,466,246	△ 39,387
教育研究経費支出	2,189,571	2,214,632	△ 25,061
管理経費支出	401,493	441,625	△ 40,132
借入金等利息支出	45,829	53,084	△ 7,255
借入金等返済支出	211,490	211,710	△ 220
施設関係支出	416,600	436,893	△ 20,293
設備関係支出	282,966	419,311	△ 136,345
資産運用支出	800,000	500,000	300,000
その他の支出	622,201	506,289	115,912
[予備費]	200,000	200,000	0
資金支出調整勘定	△ 465,106	△ 520,226	55,120
小計	11,131,903	10,929,564	202,339
次年度繰越支払資金	7,575,234	6,497,563	1,077,671
支出の部 合計	18,707,137	17,427,127	1,280,010

平成23年度 消費収支予算 要約

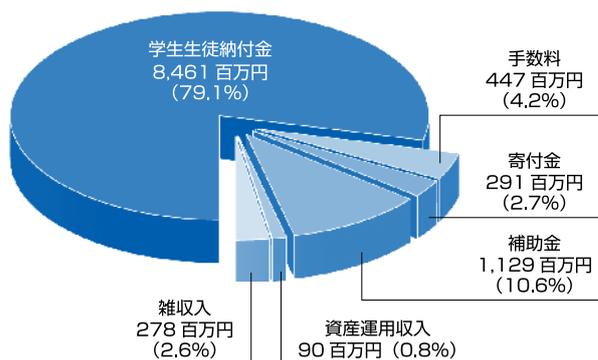
(単位：千円)

消費収入の部			
科目	平成23年度	平成22年度	比較増減
学生生徒等納付金	8,461,178	8,379,531	81,647
手数料	446,825	492,646	△ 45,821
寄付金	291,300	339,750	△ 48,450
補助金	1,128,811	1,148,069	△ 19,258
資産運用収入	90,386	95,230	△ 4,844
雑収入	277,779	303,059	△ 25,280
帰属収入 合計	10,696,279	10,758,285	△ 62,006
基本金組入額	△ 967,099	△ 804,489	△ 162,610
消費収入の部 合計	9,729,180	9,953,796	△ 224,616

消費支出の部			
科目	平成23年度	平成22年度	比較増減
人件費	6,277,158	6,436,722	△ 159,564
教育研究経費支出	2,787,936	2,766,317	21,619
経費	2,189,571	2,214,632	△ 25,061
減価償却費	598,365	551,685	46,680
管理経費支出	430,375	463,589	△ 33,214
経費	401,493	441,625	△ 40,132
減価償却費	28,882	21,964	6,918
借入金等利息支出	45,829	53,084	△ 7,255
資産処分差額	16,000	70,518	△ 54,518
[予備費]	100,000	100,000	0
消費支出の部 合計	9,657,298	9,890,230	△ 232,932
当年度消費収支差額	71,882	63,566	8,316
前年度繰越消費収支差額	△ 3,971,644	△ 4,717,148	745,504
翌年度繰越消費収支差額	△ 3,899,762	△ 4,653,582	753,820

帰属収入内訳

(総額 10,696 百万円)



消費支出内訳

(総額 9,657 百万円)

